

都市づくりフォーラム 第3回

都市づくりトピックス

都市づくりシンポジウム「自主、自立都市に向けて」を開催

6月19日土曜日、羽生市産業文化ホールにおいて開催されたシンポジウムでは、現在の社会情勢を踏まえた都市づくり、市民とのパートナーシップによる都市づくり、自主、自立に向けた羽生市の都市づくりをテーマにパネルディスカッションを行いました。

都市政策、農業政策、市民活動の専門家の方から、羽生市の都市づくり（特に中心市街地の活性化と農村コミュニティの確保）について貴重なご意見をいただきましたので、ご紹介します。

石川哲久氏（都市政策の分野、独立行政法人建築研究所理事）

これからの都市づくりのキーワードは持続型社会とコンパクトシティです。環境に負荷をかけず、高齢者や障害者に配慮した質の高い街をつくってほしいと思います。羽生市の人々が楽しく魅力のある生活をしていれば、おのずと人は集まってきます。

森浩氏（農業政策の分野、社団法人日本油料検定協会会長）

水田は、食料生産という機能、環境に対する機能を併せ持っており、羽生市の財産です。グローバル化する社会の中で食料自給や環境の問題を考えると、そういった機能を持つ水田を次世代に継承していかなければならないと思います。

藤原梯子氏（市民活動の分野、NPO法人水のフォルム理事長）

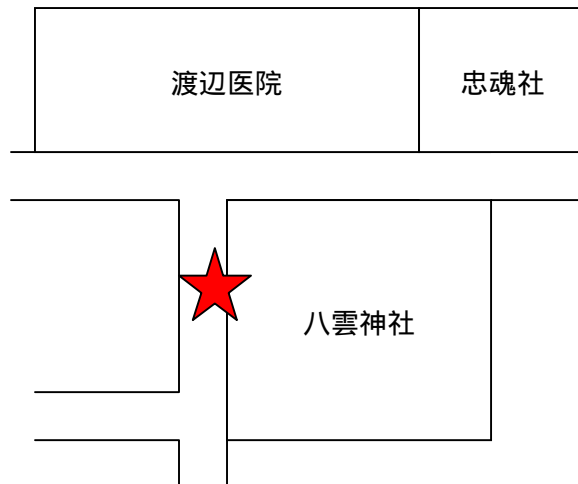
いろんな政策が市民の発想からはじまる時代が到来しています。市民も行政もいっしょになって勉強して、様々な分野で協力して中心市街地の活性化や田園風景の維持、保全を図り、美しい羽生市をつくってほしいと思います。

羽生のいいところミーツケ

< 今回の羽生のいいところ >

路地シリーズの3回目は、「木洩れ日の小径」をご紹介します。

ここは中央四丁目、八雲神社の裏の通りです。生い茂る木立から洩れる光がやすらぎの空間を演出しています。市街地の緑地空間は、景観的にも、また環境面からも貴重な存在です。人の心を和ませる効果もあり、コミュニティのシンボルとなっているところもあると思います。市街地に残された緑を守り育てていくことも都市づくりにとって重要なことだと思います。



市民フォーラム

最近、市民の方から公園利用者のマナーの悪さについてのご意見を多くいただいています。タバコや空き缶のポイ捨て、犬のフンの後始末をしていない、トイレが壊された...などです。

市では、看板を設置して、マナー向上を呼びかけています。公園はみんなのもので、一人一人がマナーを守って使いましょう。(都市計画課公園緑地係)

このような日常生活の中で感じる都市づくりについての疑問、質問などお気軽にお寄せください。お待ちしております!(匿名でもけっこうです。)

市民フォーラムへのご意見やいいところミーケへの情報提供先は
都市計画課(内線275)

FAX 5 6 1 - 6 3 8 0

email toshikei@city.hanyu.lg.jp